



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 357

April 2021

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

神戸日独協会ドイツ語講座特別講座

「ドイツ語をより身近に、より深く」

関西で64年の最も長い伝統を持ち、グローバル時代に対応した多彩なクラスを提供している「神戸日独協会ドイツ語講座」は新年度開講を機に、ドイツ語教育に関係する協会理事によって、ドイツ語に対する関心・興味・理解を改めて深めていただける特別講座を開講します。通常授業とは異なる観点、情報化時代に即した授業方法により、担当者の専門分野からドイツ語に関する又はドイツ語によるトピックを取り上げることにより、通常授業では提供できない講座を開催します。

この1年間コロナ禍のためにホームステイを余儀なくされ、その間にドイツ語を独習された方、学習しようともその機会が得られなかった方もいらっしゃるでしょう。学識豊かでドイツ語教授経験豊富な講師が、入門・初級者から中級者に分かりやすく懇切丁寧な授業を行います。ドイツ語をこれから学ぼうとする方、現在学習されている方、ブラッシュアップしようとする方に最適の講座です。ZOOM使用(一部対面授業併用)により行いますので、時間の都合や感染予防などで教室へ通えない方にお勧めの講座です。公開講座ですので、非会員の方も是非ともご参加ください。

開講日時: 4~6月の土曜日午前10:30~12:00

授業形式: ZOOMによるオンライン授業。一部は協会会議室での対面授業を併用。

定員: 各講義30名

受講料: 1回会員1000円(非会員1500円)全9回参加割引会員7000円(非会員10500円)

お申込: 各担当講師の講義は連続授業ですので2~3回単位でお申込みください。

神戸日独協会事務局へ電話(078-230-8150)またはメール(info@jdg-kobe.org)にて、希望講義テーマを4月15日までにお申込み下さい。

申込締め切り後も各講義に余裕がある場合には受け付けますが、それぞれ2日前の木曜日まで事務局へお問い合わせください。

申込後、入金を確認し次第、アクセスのリンクをお送りします。

講義内容と講師紹介

第1回(4月17日) 第2回(4月24日) 第3回(5月8日)

効率的な自学自習ができるようなドイツ語力を身につけよう

担当: 常務理事 Stefan Trummer=Fukada(元神戸大学教授)

この講座はリアルタイム・オンライン講座ですが、インターネットで自習できる能力を身につけることを目標としています。初心者向けの講座ですが、すでに勉強を始めているがなかなか進まないという方にもお勧めです。「まずは単純な会話を身につけよう」という、通常の教科書とは全く違う方向からのアプローチで、ドイツ語でインターネットから情報を得、動画を楽しんだりできるようになるには何が必要かを考えたカリキュラムです。レッスン時間全体のうち約 60%では単語ひとつづつを訳すなどではなく、より大きな関連性を把握するための文法及び語彙、アクセントの配置などについて学び、残りの約 40%でリスニングの訓練をします。外国語の動画などでは知らない単語が出てくるのは当たり前のことですが、きちんと聞き取り、適切な発音で真似ができ、大体のスペルが分かれば簡単に調べることができます。こうした基礎能力を身につけることによって、自習だけでなく、会話教室や次のドイツ語圏への旅もより楽しく、より充実したものになるに違いありません。

講師紹介 オーストリア生まれ、ウィーン大学修了。在学中にオーストリア政府奨学生として日本留学。1996年以降日本の大学で教鞭を取る。音楽と演劇、通訳について専門的に学び、音楽教育と外国語教育及びその歴史についての論文多数。ヨーロッパでの外国語学習のためのガイドラインである「ヨーロッパ言語共通参照枠CEFR」の日本導入・普及に尽力。学術博士。

第4回(5月15日) 第5回(5月22日)

ドイツ語の謎を解き明かそう

担当: 会長 柘田義一(神戸大学名誉教授)

ドイツ語で、動詞などの語が様々な変化するのはなぜ? 目的語が3格や4格や前置詞格になるのはなぜ? 現在進行形がないのはなぜ? 完了形の助動詞に haben と sein があるのはなぜ? 「春が来た」を「来た」という完了形ではなく Der Frühling ist da. (春がそこにある)と言うのはなぜ? このような「なぜ」に初級の「文法」や辞書は答えてくれません。初級の「文法」は将棋に譬えれば、各コマの動かし方を覚えさせるものなのです。いざ将棋盤を前にしてコマをどのように打っていかうか、コマの動きを盤上でどのように理解しようかとなると、話は別です。辞書もあくまで語義を教えるもので、ドイツ語の文章での働きについては教えてくれません。ドイツ語を始めようと思っている方、習っている方、もう分かっている方とともに、このような「なぜ」を通して「ドイツ人はどのように物事をとらえて、どのように言葉で表現をするのか」について探ってみませんか。

講師紹介 専門はドイツ語学(史的統語論)、中世ドイツ語。30年余り神戸大学のほか兵庫県の諸大学独文科にてドイツ語学概論、ドイツ語史等を担当。その間ミュンヘン大学留学、大学入試センター客員教授、阪神ドイツ文学会会長兼日本独文学会阪神支部長などを歴任。30余年間神戸日独協会「ドイツ語講座」を担当。ドイツ連邦共和国功勞勲章受勲。

第6回(5月29日) 第7回(6月5日)

ナチ時代を生きた2人の女性～ランデスクンデから考える

担当: 理事 杉谷眞佐子(関西大学名誉教授)

日本では通常外国語＝英語とみなされ、「国際共通語」として英語が学校教育の主流となっています。従ってその言語が話される社会・文化・歴史の学習は必ずしも教科構成には含まれません。しかしヨーロッパでは2001年刊行の『外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠』(CEFR)も示すように言語と文化の統合的学習が普通で、特にドイツでは「ランデスクンデ」や社会・文化・歴史の領域が外国語学習の主要な構成要素となっています。即ち、英語の発音や文法等は同じでも教科「英語」の構成は国により異なるのです。「外国語としてのドイツ語」では現代ドイツをより深く理解するために、ナチ時代の題材が選ばれることが少なくありません。そのような題材を通じて戦後生まれの新しい表現・意味内容をより深く理解することが可能になります。今回は同時代を対照的に生きた二人の女性、ゾフィー・ショルとトラウデル・ユングを取り上げ、そこから第二次大戦をみる戦後社会の変遷や Mitläufer という単語について考えてみたいと思います。

講師紹介 専門はドイツ語教育とランデスクンデ。ドイツの外国語教育政策を中心に欧州評議会や欧州連合の複言語主義教育の研究を行う。日本独文学会ドイツ語教授法ゼミ担当理事、日本言語政策学会副会長等を歴任。

第8回(6月12日) 第9回(6月19日)

ドイツ語発音のコツ～ドイツ語の母音・子音・リズムに親しもう

担当: 理事 林 良子(神戸大学大学院教授)

ドイツ語の発音が得意な方も苦手な方も、ドイツ語の音声は日本語とそもそもどんなふうに違うのかについて、考えてみませんか。人間はそもそもどのように声を出しているのか、ドイツ語の母音や子音は日本語や英語とどんな違いがあるのかについて、映像資料や発音練習用のソフトを使用して、ドイツ語の母音や子音の成り立ちについて解説します。参加者の皆さんにも練習を行っていただく予定です。第1回目は、ドイツ語の母音や子音といった個々の音を中心に、第2回目は、文になったときにどのようなリズムを作っていくのかを中心に解説、練習を行います。短いテキストや、詩の朗読にもチャレンジしていきます。

講師紹介 専門は言語学・音声学。外国語においてどのように音声を知覚、産出されるのかについて実証的な研究を行い、ドイツ語や英語、外国語としての日本語に関する音声習得教育・研究に役立つデータベースやソフトウェアの開発等を手がける。1995年～1998年にミュンヘン大学、キール大学音声言語研究室に留学、東京大学大学院にて博士(医学)取得後、日本語教育、言語聴覚障害分野との共同研究もすすめる。現在は神戸大学大学院国際文化学研究科情報コミュニケーション講座教授。主にヨーロッパの大学との協定を進め、国際交流事業に従事。日本音声学学会理事。

神戸市への「まん延防止等重点措置」適用と

「2021年度定期総会」について

3月中旬から兵庫県下で再び新型コロナウイルス感染が急拡大し、感染を抑え込むために4月5日から5月5日まで「まん延防止等重点措置」が神戸市・芦屋市・西宮市・尼崎市に摘要され、県下のその他の市町でも時短営業要請が出されることになりました。この状況を受けて神戸日独協会は4月5日より「非常事態宣言」発令時と同様の措置を取ることにしました。4月5日から開講の「ドイツ語講座」と「ドイツ文化教室」及び「特別講座」はオンラインを原則とします(クラスの事情により一部は対面授業を併用)。各クラスの授業形式については、事務局へお問い合わせください。

神戸日独協会は、例年5月中旬の週末に定期総会を開催してきました。そのための準備を現在進めています。しかし感染状況の急激な悪化により、開催日、開催場所、開催方式が決められずにいます。昨年は初めての「書面決議」となりましたので、今年こそは通常のカンファレンス(会員懇親会を除く)をと切に願ひ、状況の行方を見守っています。近日中に判断をして、開催方式、開催日時、開催場所についてお知らせします。「総会資料」については、例年通り5月初旬にお届けする予定です。

会員の広場

ウイルス感染防止のために協会本来の行事・催しが出来ないのも、会員相互の交流の機会を持つことが出来ずにいます。このコーナーは、会報を通して交流していただくための「広場」です。ご投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで (多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第二月曜まで事務局へ)

Lock-Down und Lockerungen

Andrea Kehle-Jandl

Die Worte sind schon verwirrend genug. Für die Bevölkerung in den verschiedenen Regionen ist es verwirrend die Übersicht zu behalten, was wo erlaubt ist. Bei einer Inzidenz von unter 100 darf man jetzt wieder mit Termin in den Geschäften, die drei Monate geschlossen waren, einkaufen.

Der „Lock-Down“ hatte dicht gemacht und die Lockerungen sollen dem Einzelhandel wieder ermöglichen Kunden anzulocken. Eine Ironie der Sprache ist, dass das englische

„lock“ das Gegenteil von „locker“ ist und mit den Lockerungen sollen wieder Kunden in die Geschäfte „gelockt“ werden, so wie Tiere mit Köder angelockt werden.

Ein Jahr Corona hat die deutsche Sprache um weitere Anglizismen bereichert: lock-down, shut-down, home office, home schooling. Anders als im Französischen wird im Deutschen gar nicht nach einem entsprechenden Ausdruck gesucht. „Alles dicht“, „Büro zuhause“ und „Schule zuhause“ hört sich nicht so gut an. Das Büro am Küchentisch klingt ärmlich.

In Wirklichkeit werden jedoch die Laptops am Küchentisch aufgeklappt. Die im „home office“ tätige Person sitzt vornübergebeugt mit schlechter Haltung auf einem unbequemen Stuhl. Alle gesetzlichen Vorgaben zur Bildschirmarbeit werden vernachlässigt und Strom, Heizung und Telefon schlagen sich in der privaten Haushaltskasse und nicht in den Bilanzen der Unternehmen wieder. Der deutsche Staat ermöglicht dann dem Steuerpflichtigen unter gewissen Voraussetzungen und in begrenztem Umfang diese Kosten steuermindernd anzurechnen.

Einige Unternehmen werden Kosten für das „Home Office“ übernehmen und auch ergonomische Bürostühle, Bildschirme etc. bereitstellen, aber ein richtiges „office“ hat nur wer viel Platz zuhause hat. Wenn dann noch Kinder im „home schooling“ daneben sitzen, wird es rasch unerträglich.

Das englische Sprichwort „My home is my castle“ bezeichnet das Zuhause als Rückzugsort. Derzeit ist es ein Schloss, in dem man wirklich eingeschlossen ist. Man beachte auch hier die sprachliche Nähe von „schließen“ und „Schloss“. Alles darf zuhause sein - „online“ - Arbeit, Schule, Sport, Kino. Irgendwann ist das Schloss ein „Burgverlies“, in dem man unschuldig „hinter Schloss und Riegel“ eingesperrt ist.

Mit dem Frühling wächst der Wunsch, wieder „raus“ zu können und dass endlich wieder in Sport und Kultur was „los“ ist. Dann ist die Stimmung wieder locker.

Wort- Erklärungen:

lockern = Vorschriften werden gelockert, der Gürtel lockert sich

locker = eine lockere, eine ausgelassene Stimmung, „eine Schraube locker haben“ (ぼか),

„locker“ ist auch „lose“, eine Schraube ist lose = locker

anlocken = mit einem Köder Fische anlocken, ein „Lockvogel“ ist kein Vogel, sondern ein Gegenstand oder eine Person, die anlocken soll

schließen = das Türschloss schließen, daher der Ausdruck „hinter Schloss und Riegel“ bedeutet „im Gefängnis sitzen“

es ist was los = man kann etwas erleben und Spaß haben

(14. 03.2021)

ロックダウンと諸々の緩和

会員 アンドレア ケーレ＝ヤンドル

これらの言葉はもう十分にまぎらわしいほど混乱しています。さまざまな地域の市民たちにとって何がどこで許されるのかという見通しを持ち続けることは、頭がおかしくなるほどまぎらわしいのです。100以下の指標では人々は、またもや期限付きで3ヶ月間も閉まっていたお店で買い物をしてもよいことになるのです。

「ロックダウン」は店を閉店にしました、そして諸々の緩和が再び小売業の店に対して客たちを引き寄せることを可能にさせるのです。英語の”lock”(錠をおろす)は、ドイツ語の”locker”(緩んだ)とは反対の意味であり、これらの緩和(Lockerung)によって、まさに動物がエサでおびき寄せられるのと同じように、またしても客たちは店へと「誘き寄せられる」(gelockt)とは、言葉の皮肉です。

コロナの一年は英語風の言い回しを多く用いることでドイツ語を豊かなものにしました。ロックダウン、シャットダウン、ホームオフィス、ホームスクーリングというように。フランス語とは違って、ドイツ語ではそれに適した表現が全く探し求められないのです。「すべて閉鎖 Alles dicht」、「在宅オフィス Büro zuhause」、「在宅学校 Schule zuhause」などは、それほどよさそうには思われません。キッチンテーブルに向かって座ってのオフィスは貧相な感じを与えます。

しかし実際にはラップトップがキッチンテーブルで開かれています。「ホームオフィス」で仕事をしている人々は、座り心地のよくない椅子に悪い姿勢で前かがみになって座っています。パソコンの画面に向かって行う仕事に対するあらゆる法的な規程はなおざりにされていて、電気や暖房や電話の料金は個人的な生活費に打撃を与えていますが、これもまた企業のバランスシートには打撃を与えてはいないのです。このような場合ドイツ国家は納税義務者に対して、一定の前提条件のもとで限定された範囲内でこれらの経費の減税を算入することを可能にしています。

いくつかの企業は、この「ホームオフィス」の経費を肩代わりし、人間工学に基づいたオフィスチェアやディスプレイなども調達するでしょう。しかしちゃんとした「オフィス」を持てるのは、家に余地が多いにある人だけなのです。さらに「ホームスクーリング」の子供たちがその隣に座しているとすれば、それは即座に耐えられないものになるでしょう。

英語のことわざ「我が家は城である」は、我が家が退却の場であることを表わしています。今のところ我が家は現実に閉じ込められている城なのです。ここでもまた schließen(閉める)と Schloss(城)との間の言語的な近さに注意を払ってください。あらゆることが、家で「オンラインで」なら許されます、仕事、学校、スポーツ、映画館が。いつかある時に城は、無罪のままに「投獄されて」閉じ込められる「地下牢」となっているでしょう。春の到来とともに、再び「外へ」出ることができるように、そしてスポーツと文化でもやっと再び何かができたり楽しめたりという望みが強まっています。その時には気分は再び緩むことになるでしょう。

用語解説

lockern: Vorschriften werden gelockert(規則が緩和される)、der Gürtel lockert sich(ベルトが緩む)

locker: eine lockere Stimmung(緩んだ気分)、eine ausgelassene Stimmung(浮かれた気分)
eine Schraube locker haben(頭のネジが一本緩んでいる=愚かである)、locker は

lose(ゆるい)の意でもある、eine Schraube ist lose.(同上)。

anlocken: 餌で魚を誘き寄せること。Lockvogel は鳥ではなくて、誘き寄せようとしている事物や人のことを指す。

schließen: 扉の錠を閉める。それゆえ hinter Schloss und Riegel は「牢獄にいる」の意。

es ist was los: 何かを体験したり、楽しんだりする。

(会員 湯浅恵理子訳)

☆ドイツのボーデン湖畔のフリードリヒスハーフェン Friedrichshafen にお住いの会員 Andrea Kehle-Jandl さんから1月に引き続き、コロナ禍のドイツを知ることのできる時宜を得たご寄稿をいただきました。ありがとうございました。

ドイツ新事情 —Deutsche Welle の記事から—

コロナから生まれた新語

理事 押尾 愛子

昨年来、私たちの生活においても「テレワーク」だの「三密」だのといったコロナ関連の言葉を耳にするが、ドイツにおいてもコロナ関連の新語が次々と生み出され、なんとその数は1200にもものぼるとか。その一部を紹介しよう。

Lockdown: ロックダウン、「都市封鎖」の意味で日本でも使われているが、もともとの英語の lockdown は「独房への監禁」、それがテロなどの危険を未然に防ぐために特定の地域を閉鎖する意味で使われるようになり、今回のコロナ危機対応により都市封鎖の意味で世界的に使われるようになった。

Maskenmuffel: Maske は元来「仮面」の意味だが、コロナが始まって以来私たちが日常的につけているマスクを指すようになった。日本で言うマスクを指すドイツ語はもともとないようで、Mundenmaske(口マスク)だの Nasenmaske(鼻マスク)だの hygienische Maske(衛生マスク)だの、初めはいろんな言い方をしていた。Gesichtsmaske(顔マスク)はホッケーのゴールキーパーがつけるようなスポーツで使うマスクを意味する。そういえば当初は、日本人がマスクをしているのを外国の人たちは笑っていたが、結局はマスクの効果が認められ、今日では世界中の人がマスクをするようになった。でもやっぱりマスクをするのが嫌な人もいて、Muffel はまさにそのことに文句を言う人。

Abstandsbier: 日本で「ソーシャル・ディスタンスを保つように」と言われているのはドイツ語では Halt Abstand(間隔を保て)。そこから Abstandsbier なんて新語ができた。仕事が終わった後、込み合ったビヤガーデンや居酒屋でちょっと一杯が出来ないのは、いずこも同じ。そこで間隔を保ちながらの一杯は、「Abstand に乾杯」となる。

Corona-Matte: 日本では緊急事態宣言が発せられても、美容院や理髪店が閉まることはないが、ロックダウン下のドイツでは、美容院や理髪店も閉店。となると髪は伸び放題、そこで生まれたのが、Corona-Matte。Matte にはアルプスの牧草地などの意味もあり、伸び放題の髪を牧草地に見立てたのだろう。美容院や理髪店は衛生的な意味からも必要と、3月からは開けられたとか。

よかったですね。

Distanzunterricht: 対面での授業が出来なくて、学校が困っているのはどこでもだ。Distanz (距離)を保つての Unterricht(授業)は生徒も先生も大変で、試行錯誤の日々が続く。

Impfdrängler: Impf はワクチン、Drängler は drängeln(押しのけて迫る)人のこと。ワクチン接種がやっと日本でも始まろうとしているが、余っているワクチンがあるなら私に…と迫る人はこれから日本でも出て来るかもしれない。

他にもウィルスをばら撒く人のことを Virenbomber(ウィルス爆撃機)と言ったり、感染の波 Welle を打ち破ろう brechen とする措置を Wellenbrecher(防波堤)と呼んだり、単語をくっつけたら新語ができる、ドイツ語の造語力というべきか？

Deutsche Welle: In aller Munde: Corona-Wortschöpfungen (10.03.2021)より

(このコーナーは、神戸日独協会ドイツ語講座講読クラスLN(火曜日)の受講者が授業で読んだ記事の中から興味深い up date なニュースを随時会報にて紹介しています)

4月の実行委員会のお知らせ

4月の実行委員会を下記のとおり開催します。実行委員以外の方にも是非ともご参加の上ご意見をいただきたくお願いいたします。感染予防の上ご参加ください。

日 時: 4月18日(日)15時～ 場 所: 神戸日独協会会議室

事務室からのお知らせ

会報印刷・発送ボランティア募集

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の印刷と発送は5月13日(木)を予定しています。なお、4月下旬に「総会資料」を印刷します。例年多くのページを印刷し、発送しますので、是非ともお手伝いください。印刷・発送日は事務室へお問い合わせください。

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL/FAX 078-230-8150)。

印刷: 兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号

国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より1時間半程度

発送: 神戸日独協会にて、12:30～

これからの神戸日独協会の催し

行事及び催し物の開催については、ウィルス感染防止のため日時の確定及び実施が極めて流動的ですので「一覧表」は割愛させていただき、その都度別途「協会ホームページ」でお知らせいたします。「協会ホームページ」でご確認いただくか、あるいは協会事務室へお問い合わせください。